

第4回富田林市観光ビジョン策定委員会

日時	令和元年7月30日 午後2時～
場所	富田林市役所3階 庁議室
委員	出席：和泉会長、橋川副会長、赤崎委員、松井委員、畑中委員、後藤委員 欠席：阪口委員、瀬川委員、柴田委員
事務局	杉分部長、柳田次長兼課長、武部課長代理、佐々木、菅原

■開会のあいさつ

議題1 富田林市観光ビジョン骨子（案）について

<会長>

皆さんこんにちは。暑い中ご苦労さまでございます。それでは早速でございますが、限られた時間でございますので、委員の皆さまのご協力を得て進めてまいりたいと思います。最後までどうぞよろしくお願いいたします。早速、議題に入らせていただきます。まず1つ目ですが観光ビジョンの骨子について事務局よりご説明をお願いします。

<事務局>

●富田林市観光ビジョン骨子（案）について、第3回策定委員会の意見を踏まえた修正点について説明。

<会長>

ただ今の、富田林市観光ビジョン骨子（案）について、承認としてよろしいでしょうか。

<委員>

（異議なし）

<会長>

ありがとうございます。では、骨子につきましてはこれでご承認をいただきましたので、よろしくお願いいたします。

議題2 市外事業所ヒアリングの報告について

<会長>

続きまして、市外事業所へのヒアリングについて事務局から説明をお願いします。

<事務局>

●市外事業所へのヒアリングについて報告

<会長>

ありがとうございました。事務局よりヒアリングのまとめを報告いただきました。本当に参考になるご意見でした。報告内容についてご意見や改めてこの場でご発言でも構いませんので何かあればお願いします。

<委員>

全国的に地域の消費をあげるため、体験型の観光に積極的に取り組まれている地域が多くあります。そのために新しい価値創造を行っていくという話になってくると思います。比較的分かりやすいのが体験コンテンツを作ることと、ご当地グルメを作ることが主になるのではないかと思います。

<会長>

ありがとうございます。確かに体験コンテンツの充実が必要だと思います。他にご意見はございませんか。何も無いようでしたらヒアリングの報告はこれでよろしいですか。では次の議題にまいりたいと思います。

議題3 富田林市観光ビジョン素案（案）について

<会長>

続いて、富田林観光ビジョン素案（案）について事務局から説明をお願いします。

<事務局>

●富田林市観光ビジョン素案（案）第1幕について説明。

<会長>

ありがとうございます。今ご説明いただきましたのは第1幕の「富田林市観光振興についての考え方」でございます。基本理念について、「来るたび発見！とんだばやし」という一文でしたが、「住んでも発見！とんだばやし」という文言を追加しています。これまでの委員会の中でも、富田林寺内町では日常生活を営んでおられるところが観光のステージになること、金剛地域の方々にもいろいろな富田林を知ってほしいことなどもございます。そこで地域に向けての一文を添えるようなイメージで捉えていただきたいと思います。

富田林市のファンを増やそうということが前回提示されていると思いますが、「地域力」を向上させることと、「可能性」を提示することを加えていただいております。観光客増加や経済振興だけではなく改めて地域に目を向けていただいて、愛着を持っていただきたいとの思いから、記述を入れております。地域への「愛着」はさまざまな新しいアクションにもつながると思いますので、「愛着」という言葉がビジョンの中に登場すべきであると思います。「可能性の提示」について掲げ、「登場人物は皆さん」で、いろいろな人が取り組むというイメージで作る方針でいこうと思います。これらを踏まえ、円滑に取り組むを進めていくために5つの基本方針を見出してくださっています。それを具体化するために意識すべきキーセンテンスということで、「体験型」などについて触れていま

す。理解しやすく見やすい構成になっているのではないかと私自身は考えます。では委員の皆さんから少しご意見を頂戴したいと思います。第1幕の内容についてご意見はございますか。

<委員>

富田林寺内町の地域では、QRコードの設置に取り組み、読み込むとそれぞれの建物の歴史的価値や文化的価値についての説明文を表示することを検討しています。少なくとも「寺内町」マップに表示されている「重要伝統的建造物群」と言われる建物の約15棟について先に整備していきたいと考えています。

<委員>

「地域力の向上」については、どの自治体でも大変重要視されていると思います。重要文化財の建物や最近では百舌鳥・古市古墳群など、インパクトのあるものが良いと思います。隠れた物の情報の掘り起こしについても考えていけたら良いと思います。

<委員>

富田林寺内町に初めて行った時に「こういう素敵なおとこが残っているのだ」と思いました。このようなまちであれば、母親を連れて二人で旅行したりすると、野菜もおいしいしとても素敵なおとこ出ができるだろうと思いました。他の地域では、映画やドラマを誘致し、聖地巡礼による地方創生に取り組んでいたりもしますので、そういうことも含めて考えていくと新たなターゲット層の開発にもつながっていくと思います。

<会長>

ありがとうございます。他にございませんか。

<委員>

わかりやすく表現されていて良いなと思いました。万遍なく基本方針のところには知らないといけないと思われる内容が入っているが、富田林市じゃなくても言える事柄になると思います。やはり「ならでは」というものを作ることが、今回の方針としてしっかり定められると良いなと思えます。

<会長>

富田林市らしい、富田林市でしかできないことを成し遂げていく、そういうビジョンになればと思います。ありがとうございます。

<委員>

富田林市しかないものを作っていくと良いのではないかと考えます。富田林市は毎年人口が約1000人減っていますが、富田林寺内町では人口が増えています。駅に近いことや住宅状況もあると思いますが、あの町にステータスができきたのではないかと考えます。富田林市らしいストーリーを作った上で、食・遊・楽しむというのを作ると良いのではないかと考えます。

<会長>

ありがとうございます。富田林市にしかできないような、富田林市らしいことを進めて

いくのが重要というところです。

いろいろな角度や立場からご意見をいただきましたが、概しまして富田林市らしさを追求し、活用していくようなビジョンであるべきであるという方向性を改めて共有できたのではないかと思います。第1幕につきましてはスムーズに理解できるような流れで書かれていまして、分かりやすく、どこにでも適用できるのではないかと思います。内容をもちろん富田林寺内町のことや生活空間のことを記載しており、綺麗な形にまとまっていると思います。これをベースにし第4幕の具体的に起こすアクションで富田林市らしい富田林市しかできないコンテンツを文章に表現し、第1幕でビジョンのあり方を表現するものでいかがでしょうかというご提案です。第1幕でも富田林市らしさをもう少し記述したほうがよろしいでしょうか。

<委員>

きれいにまとまっていてわかりやすいです。基本理念についてですが、みんなの中に共通コンセプトがあるほうが良いと思います。

<委員>

基本理念ですがどんどん新しいものが出来ていき、来るたびに色んなことが発見できる、住んでいる人たちにも発見してもらえることと思いますが、富田林市で具体的に何を発見して欲しいのかについて合意を取り共有した上でスタートしたいという気持ちです。

<事務局>

現在の経過ですが、職員で会議等での検討を進めておりますが、これはまだ台本であって今からいろいろな落書きを加えていっていただきたいです。まずテーマは「交流人口」と「定住人口」という市の中にも大きな2つの柱があります。「来るたび発見」は「交流人口」、「住んでも発見」は「定住人口」という行政用語ですので、この辺りはお意見をいただきたいと思います。

内容についてもあくまでも我々職員が考えたものと思っていただいて、ここから手を加えていただいて、楽しい台本にしていけたらと思います。

<会長>

基本理念について、もう少しキャッチーな文言で表現する方向性で検討していただくということによろしいですか。確かに基本的と言われればそうですが、基本方針は比較的内容の修正が必要などところが見当たらないという所見ですがいかがですか。「基本方針」と「キーセンテンス」はそのままでも構いませんか。いかがでしょうか。

<委員>

基本理念が表に出ないのであればこのままでわかりやすいと思いますが、表に出るのであればもう少し富田林っぽさを表すものにする検討が必要ではないでしょうか。

<会長>

それでは、基本理念については委員の皆様のお知恵を拝借するとしまして、基本方針以

降は特に反対意見がありませんでしたのでこのままでいかせていただきたいと思います。では、第2幕に進みたいと思います。

<事務局>

●富田林市観光ビジョン素案（案）第2幕について説明。

<会長>

ありがとうございます。今の説明の通りですが、すべてが出てきているわけではございませんが、第2幕の「富田林市の観光の今」で、これからビジョンを進めていくなかで様々な調査結果を掲載するというので、まず調査の結果を載せるというところのご承認をいただけますでしょうか。

<委員>

（異議なし）

<会長>

では、第2幕はこの方向性で調査結果などを掲載させていただくということですが、すべて出揃ってはいないので別の機会にご意見を頂戴したいと思います。続きまして第3幕です。重点的に取り組むことについて事務局より説明をお願いします。

<事務局>

●富田林市観光ビジョン素案（案）第3幕について説明。

<会長>

ありがとうございます。第3幕の重点的に取り組むことについて説明をいただきました。ここについては、すでに骨子検討の際に、「重点戦略」としてこの3つの項目を立てることについてご承認をいただいていますので、各項目の記載内容や視点等の記述についてこの場でご意見をいただきまして加筆修正を入れさせていただきたいと思います。いかがでしょうか。

<委員>

1つ目の「歴史・文化を活かした観光振興」で富田林寺内町のこともあげていただいています。富田林市寺内町については5年間で人口が増えています。65歳以上の高齢者は減少し、それ以下の方が増えてきており、これからの観光資源として、また新たに期待していただけるのではないかと考えています。

<委員>

具体的な動きは次のアクションプランに出てくると思いますので、方向性でいくと歴史・文化・自然・外国人で問題ないと思います。ただし重点的に取り組むとありますので、3つの項目はこのままで大丈夫だと思いますが、そこに対して新しく価値を作りに行くというメッセージがもう少し見えてくると良いと感じます。

<委員>

第4幕で具体的な取り組みが出てくるなら良いと思います。

<会長>

ありがとうございます。委員の皆さんからいただきましたご意見を基に第3幕の記載内容について修正をかけていただければと思います。基本的には3つの柱を立てて次の具体的に起こすアクションの部分につなげて進めてまいりたいと思います。では続けて第4幕の「具体的に起こすアクション」について事務局から説明をお願いしたいと思います。

<事務局>

●富田林市観光ビジョン素案（案）第4幕について説明。

<会長>

第4幕のアクションプランにつきましては一番ご意見があると思いますが、各項目や内容については庁内会議等で検討した後にあがってくるということですので、今時点で委員の皆さんにお考えいただきたいことはまずアクションプランの中でこういう項目や切り口でアクション展開をしていけば良いのではないかというご意見をいただきたいと思います。いかがでしょうか。

<委員>

古墳や神社仏閣に関しては、「既存の観光資源の磨き上げ」のなかに含まれる認識ですか。

<事務局>

個別に古墳や神社仏閣について記載しておりませんが、既存資源を活かした新しい価値やコンテンツについて触れ、それらを含めるような認識です。

<会長>

記述スタイルはプラン方向性、目的があって期待する効果があり、主な具体的プラン、こういう事務局提案ですがこれでよろしいでしょうか。他の自治体によっていろいろな書き方がありますが、見やすいと思います。書き方はよろしいでしょうか。

<委員>

（異議なし）

<会長>

ありがとうございます。是非とも入れ込みたい項目などありましたら、次回以降の会議でも出てきますが事前にお分かりでしたら入れ込んだ内容で進めていただきたいと思っていますのでご意見がございましたらいただきたいと思います。いかがでしょうか。

<委員>

富田林ブランド商品認定委員会についてですが、商品をそこで審査をして認定していますので、もう少し記載していただきたいと思います。

<委員>

「食」のカテゴリはどこかに入っていますか。食というのはとても重要視されています。富田林市らしい食があると思っています。

<委員>

旅の目的に関する設問がよくありますが不動の第1位が「地元のおいしいものが食べたい」ということです。「富田林市を象徴する「食」を開発」に力を入れていただきたいと思っています。「お土産」についての記載がありますが、「お土産」はどちらかというところから来ていただいてから見つける着地の情報かと思しますので、発地のタイミングでこれを目指して行くものとして「食」でチャレンジをいただきたいと思っています。

<委員>

ブランド品のエビイモや大阪一の出荷量のナスといった素材があるので、それらを活かしたイベントなども良いのではないかと思います。

<会長>

ありがとうございます。「食」については柱を立て、もう少し取り上げる方向で考えたいと思います。

<事務局>

エビイモはだいたい受託生産で京都への出荷になりますので、一般に流通するシステムになっていないです。皆さんの手に入るようにしたいですが、需要と供給、あるいはブランド力の維持で、なかなか手のかかるものなので、富田林産は入手しづらい状況ではあります。推しだしてはいますがこれが一大産業になるかというところと難しいところはあると思います。エビイモ農家と呼ばれているのは富田林市に15軒程度で、サバーファームでは作っていません。売れるからといっても富田林では人力で独特のエビイモの形状や味を保っているため、面積を広げることが難しいです。

<会長>

では、記述スタイルについては事務局提案で進めていただき、アクションプランには「食」に関する項目を追加する方向性で進めていただきたいと思っています。では続いて第5幕「みんなで観光まちづくりを推進するための体制づくり」の説明をお願いします。

<事務局>

●富田林市観光ビジョン素案（案）第5幕について説明。

<会長>

第5幕では、「みんなで観光まちづくりを推進するための体制づくり」についてビジョンの中に記載を検討しているとのこと説明でした。項目についての提案のみで内容については次回の策定委員会で提示したいとのこと。この形で進めさせていただいてよろしいでしょうか。

<委員>

（異議なし）

<会長>

ありがとうございます。では次の議題4のその他に進ませていただきます。

議題4 その他

<事務局>

今後の予定についてご説明させていただきます。今回の策定委員会でいただきましたご意見を元に素案作りを進めてまいります。策定委員会の日程つきましましては改めて日程調整をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。またワークショップについても検討を進めています。詳細については改めてご報告をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

<会長>

ありがとうございます。その他ご意見・ご質問等はございませんか。

<事務局>

アクションプランの効果の図り方についてですが、今は記載しておりませんが、ここについてご意見をいただきたいと思っております。効果の設定を非常に悩んでいまして何を指標とし、どう評価するかが市でも課題になっています。ただ観光ですので、数字だけでは測定しにくいところもあります。そのため、委員の皆様から意見をいただけたらと思いますのでよろしくお願いいたします。

<会長>

ありがとうございます。事務局からご発言があったとおりですが、第4幕アクションプランの効果の測り方について参考になるようなご意見等ございましたらいただきたいとのことでした。他市でも、やはり効果測定について数字だけで見るのが適しているのかという話もあるようです。ほとんどが数字を物差しにして測定しているわけですが、その測定方法がすべての項目に適しているのかどうかは議論が必要かと思われれます。特に観光は人が増えれば良いというわけではない一面があります。そのあたりのご意見がありましたら是非ともご意見をいただきたいということですのでお願いします。では以上をもちまして本日の議事を終了させていただきます。委員の皆様ありがとうございます。

<事務局>

和泉会長、ありがとうございます。委員の皆さまにおかれましてはお忙しいところご出席いただきまして、また多くの貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。本日いただきました意見を踏まえまして市の関係部局と調整の上、観光ビジョン策定に活かしていきたいと考えておりますので、次回もよろしくお願いいたします。本日はありがとうございます。